

本編に記載している用語の意味については、以下のとおりである。(50音順)

### ICカードデータ

交通系 IC カードの利用により記録される乗降履歴や利用状況等のデータ。公共交通の利用実態の把握や需要分析、施策の検討・評価等に活用される。

### ICT(アイシーティー:Information and Communication Technology)

情報通信技術の総称であり、情報の収集、処理、伝達等を可能とする技術。地域公共交通分野においては、運行管理や情報提供、利用促進等に活用される。

### コミュニティバス

主に市町村が関与して運行され、地域住民の日常的な移動を支えることを目的としたバス。公共交通空白地の解消や、鉄道・路線バス等への接続を担う役割を持つ。

### コンパクトシティ・プラス・ネットワーク

都市機能や居住を一定のエリアに集約するとともに、それらを公共交通等のネットワークで結ぶことにより、持続可能な都市構造の形成を目指す考え方。地域公共交通は、その実現に向けた重要な基盤として位置づけられる。

### 自動運転技術

センサーや通信技術等を用いて、車両の運転操作の一部または全部を自動化する技術。地域公共交通分野においては、人手不足への対応や移動手段の確保等を目的として活用が検討されている。

### GIS(ジーアイエス:Geographic Information System)

地理情報を管理・分析・可視化するための情報システム。地域公共交通の現状把握や施策検討に活用される。

### GTFS (ジーティエフエス:General Transit Feed Specification)

公共交通機関の路線、時刻表、停留所等の情報を、共通の形式で提供するためのデータ仕様。この形式でデータを整備することで、Google マップ等の経路検索サービスに時刻表や運行情報を掲載できるようになる。

### 新・宮城の将来ビジョン

宮城県が策定した総合計画であり、県政運営の基本理念や将来像、政策推進の基本方向を示すもの。令和3年度から令和12年度までの10か年のビジョンとなっており、地域公共交通計画は、本ビジョンとの整合を図りながら策定している。

### 第三セクター鉄道

地方公共団体と民間事業者が出資して設立された法人が運営する鉄道。地域の基幹的な交通手段として、通勤・通学等の住民の移動を支える役割を担う。本計画では阿武隈急行鉄道を指す。

### 地域間幹線系統

複数の市町村や生活圏を結び、地域間の移動を担う基幹的な公共交通の系統。鉄道や広域バス路線等が該当し、広域的なネットワーク形成において重要な役割を果たす。

## 地域公共交通

地域住民の日常生活や社会経済活動を支えるために提供される交通手段であり、鉄道、路線バス、タクシー、コミュニティバス、デマンド交通等を指す。「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、その維持・確保及び利便性向上が図られる。

## 地域公共交通活性化協議会

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき設置される協議の場。地方公共団体、交通事業者、関係機関等で構成され、地域公共交通計画の策定や施策の検討等を行う。

## 地域公共交通計画

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づき、地方公共団体が策定する地域公共交通の維持・確保及び利便性向上を目的とした法定計画。

## 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

地域公共交通の活性化及び再生を総合的かつ計画的に推進することを目的とした法律。地域公共交通計画の策定や、地域公共交通に関する施策の基本的枠組み等を定めている。

## 地域内交通

市町村や生活圏内において、地域住民の日常的な移動を支える交通手段。コミュニティバスやデマンド交通等により、地域内の移動や幹線交通への接続を担う。

## DX(ディーエックス:Digital Transformation)

デジタル技術の活用により、業務やサービス、組織の在り方等を変革し、価値の向上を図る取組。地域公共交通分野においては、運行の効率化や利用者利便性の向上等を目的として推進される。

## デジタルサイネージ

電子的な表示装置を用いて、文字や画像、映像等の情報を表示・配信する仕組み。公共交通分野においては、停留所や駅等に設置され、運行情報や案内情報の提供等に活用される。

## デマンド交通

利用者の予約や需要に応じて運行する交通サービス。定時定路線によらない柔軟な運行形態により、地域内の移動や公共交通空白地における移動手段として活用される。

## 二次交通

鉄道主要駅や空港等の交通拠点と目的地を結ぶ交通アクセスのこと。

## バスロケーションシステム

バス車両の位置情報をリアルタイムで把握し、運行状況や到着予測時刻等を利用者や運行管理者に提供する情報システム。公共交通の利便性向上や運行管理の高度化に活用される。

## BRT(ビーアールティー:Bus Rapid Transit)

バス専用走行空間の整備や運行管理の高度化等により、定時性や速達性の向上を図るバス交通システム。鉄道に近いサービス水準を実現する公共交通手段として位置づけられる。

## MaaS(マース:Mobility as a Service)

複数の交通手段を一体的に捉え、検索、予約、決済等を一つのサービスとして提供する考え方。地域公共交通の利便性向上や利用促進を図る取組として活用される。

## モビリティデータ

人や車両の移動に関する位置、経路、時間等の情報を示すデータ。公共交通分野においては、利用状況の把握や需要分析、施策の検討・評価等に活用される。

## 立地適正化計画

都市再生特別措置法に基づき市町村が策定する計画で、都市機能や居住の立地を適正に誘導し、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現を目指すもの。地域公共交通計画と相互に連携しながら推進される。

## 離島航路

本土と離島、または離島相互を結び、島民の日常生活や地域の社会経済活動を支える船舶による交通路線。地域公共交通の一つとして、離島地域における重要な移動手段に位置づけられる。

## ローカル線

地方部を中心に運行され、地域住民の日常的な移動を支える鉄道路線。通学や通院等の生活利用を担う路線を指すが、本計画ではJRが運行するものに限定している。